

ベネズエラ

Bolivarian Republic of Venezuela

	2016年	2017年	2018年
①人口：2,919万人（2018年）			
②面積：91万6,445km ²			
③1人当たりGDP：3,374米ドル （2018年）			
④実質GDP成長率（%）	△17.0	△15.7	△18.0
⑤消費者物価上昇率（%）	274.4	862.6	130,060.2
⑥失業率（%）	20.9	27.9	35.0
⑦貿易収支（100万米ドル）	11,033	22,007	18,811
⑧経常収支（100万米ドル）	△3,870	8,706	6,298
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	10,992	9,662	8,837
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	127,507	113,161	111,146
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ボリバル・ソベラノ、期中平均）	10 / 673.8	10 / 3,345	563

〔注〕①③⑥⑦⑧⑩と④の2017年および2018年は推計値、⑦：国際収支ベース（財のみ）、⑨マクロ安定化基金（FME）を含まず、⑩ベネズエラでは為替管理制度に基づき固定相場が採用されており、2013年2月から1ドル=6.3ボリバル、2016年3月から1ドル=10.00ボリバル、2016年3月から固定相場と為替協定35号によりDICOMの運用が開始となったが、実際には2017年5月まで開始されず、為替協定33号に準じた為替制度SIMADI（変動相場制）を併用：（1）固定相場（DIPRO）：1ドル=10.00ボリバル、（2）DICOM（SIMADI）：1ドル=673.80ボリバル（2017年12月31日時点）。2018年8月にデノミ実施。通貨をボリバル・ソベラノに統一。

〔出所〕①③④⑥：IMF、②：国家統計院（INE）、⑤⑦～⑩：ベネズエラ中央銀行

2018年のベネズエラ経済は再選を決めたマドゥロ政権下で、生産部門の機能不全などによりハイパーインフレを記録。困窮した国民の国外脱出も加速した。米国の金融制裁強化によって、基幹産業である石油生産・輸出が大幅に減少した。

桁違いのハイパーインフレで経済が困窮

IMFの統計によると2018年の実質GDP成長率はマイナス18.0%と、5年連続のマイナス成長となった。2桁のマイナス成長は2016年（マイナス17.0%）、2017年（マイナス15.7%）に続き3年連続だった。基幹産業である石油生産部門の落ち込みで、原油輸出額と外貨準備高が減少し、国内のモノ不足が深刻化した。

ベネズエラ中央銀行によると、2018年の消費者物価上昇率（期末値）は13万%（ただし、IMFによると156万%）と、2017年（862.6%）から桁違いに上昇した。通貨供給過多によってハイパーインフレとなり、政府は最低賃金の引き上げを繰り返したが物価上昇には追い付かなかった。政府は8月20日、通貨単位を10万分の1に切り下げるデノミネーションを実施し、通貨をボリバル・フエルテからボリバル・ソベラノに変更した。同時に通貨流通抑制のため準備預託制度を設け、中銀への預入額を増額した。また、埋蔵原油や金の価格を裏付けとする仮想通貨「ペトロ」を導入した。1ペトロは埋蔵原油1バレルの国際価格に相当する。さらに、個人の外貨資金保有や金融機関による外貨両替の認可など、通貨・金融政策を次々と実施したがインフレの抑制には十分な効果を得られなかった。

財政赤字によって電気、ガス、水道などの基礎的公共サービスが悪化した。2019年3月以降、送電網のメンテナンス不足が原因とされる数回にわたる全国規模の大停

電が発生し、生産活動や国民生活にさらなる打撃を与えた。困窮した国民の国外脱出が加速し、隣国コロンビアには2018年、前年の3倍以上となる77万人のベネズエラ人が移住した。

なお中銀によると、2018年末時点の外貨準備は88億3,700万ドル、対外債務残高は1,111億4,600万ドルだった。また、米国による金融制裁が強化され、債務償還が一層困難となった。

政権維持のため反対派を強硬に抑圧

2018年5月20日に行われた大統領選挙で再選したマドゥロ大統領は2019年1月10日に大統領宣誓を行い、第2次マドゥロ政権が発足した。マドゥロ政権への反対派が多数派を占める国民議会は、5月20日の選挙自体が違憲であるためマドゥロ政権は権利侵害状態であると主張した。1月23日、憲法の規定に従う形で国民議会のグアイド議長が「暫定大統領」を宣誓し、民主的な選挙による政権交代を求めた。マドゥロ政権の正当性を認めない米国や、ベネズエラの民主化を求める周辺国「リマ・グループ」加盟国など、約50の国や国際機関がグアイド氏を大統領として承認すると表明した。しかし、マドゥロ大統領はそれらの国際意見をはねつけ、米国との国交断絶を宣言した。

国際的な支援を得たグアイド議長はその後も街頭活動を中心とする抗議行動を続けた。2月23日にはコロンビ

表1 ベネズエラの品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2017年		2018年		2017年		2018年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
貴金属およびその製品	0	1,904	70.4	—	ボイラーおよび機械類、同部品	1,718	569	17.6	△66.9
鉱物性燃料	215	285	10.5	32.8	電気機器、音響機器、テレビなど	546	426	13.2	△22.0
有機化学品	245	157	5.8	△35.9	鉄鋼製品	386	285	8.8	△26.2
鉄鋼	215	121	4.5	△43.9	医療機器、検査機器、精密機器および同部品	115	184	5.7	59.5
アルミニウムおよびその製品	74	79	2.9	7.5	医薬品	359	163	5.0	△54.8
魚並びに甲殻類、軟体動物	55	41	1.5	△25.1	プラスチックおよび同製品	236	140	4.3	△40.6
無機化学品および貴金属、希土類金属など	46	32	1.2	△32.0	鉱物性燃料	383	121	3.7	△68.5
肥料	70	18	0.7	△74.2	無機化学品および貴金属、希土類金属等	127	120	3.7	△5.2
機械類、同部品	11	10	0.4	△7.5	各種の化学工業生産品	202	110	3.4	△45.5
木材およびその製品	4	7	0.3	69.5	穀物	106	106	3.3	0.5
合計 (その他含む)	1,278	2,705	100.0	111.7	合計 (その他含む)	6,721	3,227	100.0	△52.0

〔注〕 輸出は非石油部門のみ。

〔出所〕 SENIAT (Global Trade Atlas)

表2 ベネズエラの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2017		2018		2017		2018		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
北米 (NAFTA)	290	211	7.8	△27.2	北米 (NAFTA)	2,629	1,206	37.4	△54.1
米国	255	197	7.3	△22.9	米国	2,403	1,023	31.7	△57.4
メキシコ	34	13	0.5	△61.3	メキシコ	163	120	3.7	△26.6
中南米	557	387	14.3	△30.5	カナダ	63	63	1.9	0.1
ブラジル	109	290	10.7	165.7	中南米	1,480	892	27.7	△39.7
コロンビア	123	58	2.1	△52.9	ブラジル	397	237	7.4	△40.3
チリ	25	12	0.4	△51.7	コロンビア	364	209	6.5	△42.6
ドミニカ共和国	9	8	0.3	△2.1	パナマ	110	114	3.5	3.1
トリニダード・トバゴ	62	7	0.3	△88.8	キューバ	116	68	2.1	△41.4
パナマ	3	2	0.1	△24.3	アルゼンチン	188	48	1.5	△74.3
ペルー	9	2	0.1	△78.3	ジャマイカ	5	38	1.2	678.2
ハイチ	0	2	0.1	純増	ウルグアイ	27	28	0.9	5.8
グアテマラ	4	1	0.1	△64.9	エクアドル	57	28	0.9	△51.3
欧州	263	124	4.6	△52.9	キューラソー	8	22	0.7	188.7
オランダ	57	43	1.6	△24.8	欧州	815	471	14.6	△42.2
スペイン	36	16	0.6	△54.8	ロシア	21	137	4.2	551.3
ポーランド	8	14	0.5	89.4	スペイン	118	90	2.8	△23.8
イタリア	84	12	0.4	△86.1	ドイツ	166	64	2.0	△61.4
スウェーデン	8	10	0.4	28.9	イタリア	173	52	1.6	△70.0
アジア大洋州	96	57	2.1	△40.1	オランダ	41	29	0.9	△28.7
中国	64	43	1.6	△33.1	アジア大洋州	1,701	628	19.5	△63.0
ベトナム	18	14	0.5	△24.9	中国	1,482	531	16.5	△64.2
中東アフリカ	71	1,925	71.2	2,594.5	インド	30	23	0.7	△23.7
アラブ首長国連邦	0	1,206	44.6	純増	韓国	63	15	0.5	△76.0
トルコ	30	677	25.0	2,140.4	中東アフリカ	97	29	0.9	△69.9
合計 (その他含む)	1,278	2,705	100.0	111.7	合計 (その他含む)	6,721	3,227	100.0	△52.0

〔注〕 ①輸出は非石油部門のみ。

②地域分類は北米、中南米を除き日本の外務省基準に基づく。

〔出所〕 SENIAT (Global Trade Atlas)

ア国境で諸外国からの救援支援物資の搬入を指揮したが、政府側の強硬な拒絶に合い失敗に終わった。また、5月初旬には軍や治安当局関係者の離反を期待した大規模な街頭行動を展開したが、鎮圧された。

多くの国内問題を抱え、経済制裁など国際的な圧力を受けながらも、マドウロ政権は政府組織や治安当局、憲法裁判所、また民間武装組織などを巧妙に活用し、政権を維持した。

■インド向け原油、中東向け金の輸出が増加

中銀の統計によると、2018年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比1.0%減の336億7,700万ドル、輸入は同23.6%増の160億ドルだった。なお中銀資料によると輸出の88.5%にあたる298億1,000万ドルが石油部門であり前年比5.4%減だった。

2018年の石油部門以外の輸出（通関ベース）は27億500万ドルと前年比2.1倍に増えた。前年の輸出実績がほとんどなかった金が19億400万ドルと全体の70.4%を占めるに至ったのが要因で、アラブ首長国連邦向けが約12

億ドル、トルコ向けが7億ドルだった。政府は2018年より必要な物資購入のための外貨獲得手段として、金の輸出を本格的に始めた。しかし、2018年11月に米国政府は、ベネズエラの金部門との取引に関する制裁を発動し、同国の金輸出政策と輸入国を牽制した。また、輸出の2位は鉱物性燃料で2億8,500万ドルだった。ベネズエラの統計上、電力が含まれており、5倍近く増えたブラジル向けの売電分がその9割を占める。なお原油・石油製品以外での主要輸出品目であったメタノールなどの有機化学品は国内生産の減少に伴い35.9%減、鉄鋼が43.9%減となった。

2018年初に日量160万バレル（OPEC予想）であった原油生産はベネズエラ国営石油公社（PDVSA）による投資不足から減産が続き、同年12月には111万バレルとなった。ベネズエラでは石油部門の通関統計が公表されていないことから、大まかな輸出実態をつかむため、輸出が想定される仕向け国・地域側の輸入統計からベネズエラ産原油および石油製品の輸入実績を調べる。これによると最大の輸出先である米国向け原油輸出は1%減の106億2,900万ドルと横ばいだったが、インド向けは27.2%増の73億9,200万ドルと中国を抜いて2位となった。なお中国

表3 主要国・地域のベネズエラからの原油・石油製品輸入額

(単位：100万ドル、%)

	2016年			2017年			2018年		
	輸入額			輸入額			輸入額		
	原油	石油製品		原油	石油製品		原油	石油製品	
北米	10,837	9,801	1,036	11,909	10,741	1,169	12,777	10,629	2,148
米国	10,804	9,768	1,036	11,909	10,741	1,169	12,777	10,629	2,148
カナダ	33	33	0	0	0	0	0	0	0
中南米									
ブラジル	198	0	198	154	0	154	27	0	27
ジャマイカ	60	45	15	38	29	9	n.a.	n.a.	n.a.
コロンビア	2	0	2	2	0	2	1	0	1
ドミニカ共和国	47	0	47	4	0	4	72	0	72
欧州									
スウェーデン	278	278	0	358	343	15	348	348	0
スペイン	229	217	12	331	318	13	231	231	0
英国	156	78	78	101	53	48	44	44	0
ドイツ	99	99	0	190	190	0	274	274	0
ベルギー	53	42	11	42	24	18	157	157	0
イタリア	14	0	14	53	53	0	27	27	0
オランダ	49	49	0	2	0	2	202	0	202
アジア大洋州									
中国	5,130	4,548	582	6,712	6,525	187	7,044	6,977	67
インド	5,073	5,073	0	5,813	5,813	0	7,392	7,392	0
シンガポール	1,141	0	1,141	1,369	0	1,369	750	0	750
日本	39	39	0	134	134	0	0	0	0
合計	24,802	21,410	3,392	29,368	26,204	3,164	42,123	36,709	5,415

〔注〕①各国統計局による、ベネズエラからの原油（HSコード2709）、石油製品（HSコード2710）輸入額。キューバ、ニカラグアなど一部の国・地域の統計局のデータは含まれない。②国によって統計方法が異なるため、表内にCIF価格の輸入額、FOB価格の輸入額など混在する。③地域分類は北米、中南米を除いて日本の外務省基準に基づく。

〔出所〕各国税関データよりジェトロ作成

向けは69億7,700万ドルと、6.9%の増加であった。一方、石油製品はシンガポールやブラジル、欧州、中国向けが大幅に減少した一方、米国向けはほぼ倍増した。

米国は2019年1月28日、マドゥロ政権への圧力強化のため、米国内にあるPDVSA資産を凍結し、米国企業とPDVSAとの取引を原則禁止する新たな制裁を実施した。ベネズエラは自国の重質原油を輸出グレードにするためナフサなどの希釈材を米国より輸入していたが、制裁により困難となった。また、同年3月と4月の全土での停電の影響もあり、5月の原油生産は日量74万バレルまで落

表4 日本の対ベネズエラ主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：1,000ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2017年		2018年			2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
乗用車	7,585	4,844	24.6	△36.1	メタノール	4,142	12,912	43.8	211.7
プラスチックくず	1,338	3,261	16.6	143.7	カカオ豆	12,726	10,084	34.2	△20.8
自動車用部分品および附属品	5,251	2,603	13.2	△50.4	冷凍タコなどの軟体動物	173	1,998	6.8	1,056.9
ピストン式火花点火エンジン	6,717	2,147	10.9	△68.0	アルミニウムインゴット	1,693	1,408	4.8	△16.8
貨物自動車	3,136	1,250	6.4	△60.1	アルミニウムくず	461	589	2.0	27.7
ゴム製タイヤ (新品)	1,549	774	3.9	△50.0	ラム酒その他類似品	217	292	1.0	34.2
自動車用シャシ	0	623	3.2	純増	冷凍タチウオなどの冷凍魚	261	281	1.0	7.5
二輪車	103	455	2.3	340.4	人造コランダム	469	99	0.3	△78.9
エンジン部分品	1,154	301	1.5	△73.9	チョコレートなどのココア製品	61	81	0.3	32.4
ギヤボックスその他の変速機など	1,177	214	1.1	△81.8	冷凍魚フィレ	194	56	0.2	△71.1
合計 (その他含む)	72,966	19,668	100.0	△73.0	合計 (その他含む)	154,368	29,489	100.0	△80.9

〔出所〕財務省「貿易統計」(通関ベース)

ち込んだ。

国・地域別輸出では、金の輸出で中東・アフリカ地域が19億2,500万ドルと全体の71.2%を占めた。ブラジルは165.7%増の2億9,000万ドルと米国を抜き2位の輸出先国となった。米国は1億9,700万ドルと22.9%減少した。その他、中南米、アジア大洋州、欧州向けはそれぞれ30.5%減、40.1%減、52.9%減となった。

2018年の輸入（通関ベース）は32億2,700万ドルと前年比52.0%減少した。ボイラーおよび機械類が5億6,900万ドルと66.9%減、電気機器が4億2,600万ドルと22.0%減など軒並み大きく落ち込むなか、医療機器などは59.5%増（1億8,400万ドル）、食用トウモロコシなどの穀物が0.5%増（1億600万ドル）となった。

国・地域別輸入では、鉄鋼製品の純増したロシアが6.5倍、酸化アルミニウムが純増したジャマイカが6.8倍となった他は、ほぼ全ての国・地域で大幅減を記録している。

■日本は原油輸入がゼロに、輸出入とも大幅減少

日本の貿易統計（通関ベース）によると、2018年のベネズエラ向け輸出は1,967万ドルと前年比73.0%減だった。品目別にみると乗用車が36.1%減少したほか自動車部品やエンジン、貨物自動車などが軒並み50%を超える減少となっている。他方、プラスチックくずは2.4倍となり乗用車に次いで2番目の輸出品目となった。

輸入では、前年1億3,400万ドルあった原油の輸入がゼロとなったため、輸入額は前年比80.9%減の2,949万ドルとなった。品目別にみるとメタノールが1,291万ドルと3.1倍に増加したほか、冷凍タコなどの軟体動物が10倍以上増えた。カカオ豆、アルミニウムインゴット、人造コランダム、冷凍魚フィレはそれぞれ減少した。